



< 起点付近 >
現況



計画



< 中間付近 >
現況



計画



< 終点付近 >
現況



計画



長野中央通り舗装修繕工事に伴う
石畳舗装色彩変更について

○概要
長野中央通り(大門交差点から善光寺交差点)の車道部石畳舗装の損傷が激しく、通過車両及び歩行者(観光客)等への安全対策のため舗装修繕工事を行うものである。なお、工事実施に合わせ、地元より車道部の石畳の色彩及び施工方法の要望があったもの。

○経過
1. 平成4~8年 長野建設事務所にて舗装工事施工
2. 平成15年3月 長野県から長野市に移管
3. 平成28年10月 色彩、施工方法等 地元より要望
4. 平成29年9月 地元でアンケートの実施(33件)
5. 平成29年11月 アンケート結果の報告
結果:歩道の色彩に近い石畳(24件:約7割賛成)

○大門町上区でのデザインパートナー
造園・建築家マーク・ピーター・キーン氏の構想(座談会にて)
・「善光寺の前庭」をつくる発想
・もともとは車道も歩道も同じ色を使う計画だった。(提案書より)
・車道の敷石は参道のように縦敷き模様とする。

◎変更計画について
①黒御影石から紅御影石への色彩変更(直線部)
②石張り方向は、横張りから縦張りに変更
③善光寺交差点の石畳を半たわみ性舗装に変更